

前回総会（H28.1.22）での意見に対する対応（案）

今回の中間報告とりまとめ(案)に反映した内容はゴシック、報告書のページを記載

項目	意見	対応（案）
全体	他県との違いを打ち出すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・会場が立山連峰と富山湾を望める素晴らしい眺望で開放的なロケーション（P5） ・越中万葉の朗唱（P9） ・「14歳の挑戦」で森や海に関わる就業体験をした中学生の発表（P9） など富山らしさを打ち出す。
式典行事計画	全国トップレベルにある富山県の洋舞を活用すべき。	子供たちが中心となって、壮大でクオリティの高いオリジナルの創作舞踊により、富山の「森」「川」「海」のつながりを表現（P8）
	21世紀は水の世紀となる。水が豊富な富山県をしっかりとアピールすべき。	富山の豊かな「水」とそれを支える豊かな「森」、そして、「森」「川」「海」のつながりを、大会テーマ及び式典での創作舞踊、越中万葉、「14歳の挑戦」の中学生の発表など、様々な場面で表現（P3, 8, 9）
	県民が自然を大事にしている思いを発信すべき。	<ul style="list-style-type: none"> ・式典において、「14歳の挑戦」で「森」や「海」で就業体験をした中学生が森や海の保全への思いを発表（P9） ・エピローグで、森づくりボランティアなどの団体（約170団体）が勢揃いし、とやまの森づくりに対する思いを発信（P10）
	大会では、若い子供たちがたくさん参加できるようにしていただきたい。	式典では、 <ul style="list-style-type: none"> ・花とみどりの少年団 ・「14歳の挑戦」の中学生 ・小・中学生中心の創作舞踊 など、随所に子供たちが出演（P8, 9）
植樹行事計画	「立山 森の輝き」を再生林の切り札として、しっかり打ち出すこと。	<ul style="list-style-type: none"> ・黒部市田糶、魚津市三ヶで伐採跡地に「立山 森の輝き」を植栽（P16, 20） ・「立山 森の輝き」を天皇陛下のお手植え樹種として計画（P12）
	<ul style="list-style-type: none"> ・県外の参加者と富山の方が触れ合う機会があればよい。 ・植樹の際、地元と触れ合い、PRする場があればよい。 	それぞれの植樹会場において、地元の方々と県外招待者との交流の機会を創出する計画（P16）
会場整備計画	県産材をしっかりと使い、PRすること。	県産材をふんだんに使ったお野立て所を設置するほか、県産材を活用した大会初の本製テントを設置（P26, 27）
	仮設トイレの設置について、混雑しないよう配慮が必要。	先催の状況を調査して、必要数やその設置場所を計画するほか、案内サインの充実など、混雑回避に向け総合的に対応